

①環境マネジメントシステム(EMS)	ISO14001	2004年03月～
②品質マネジメントシステム(QMS)	ISO9001	2005年02月～
③情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)	ISO27001	2010年10月～
※適用業務:通信機器の修理		

## <ISO 方針>

立谷通信株式会社は、通信機器を扱うプロフェッショナルの集団として、「情報通信事業での社会貢献をする」「個人の人間性を尊重し、喜びとやりがいのある会社を目指す」「常に技術研鑽を積み、お客様の要望に応え信頼される会社を目指す」を経営理念とし、これらの実現を目指しております。

その経営理念に則って、事業活動、製品やサービスの実現にあたり、「環境マネジメントシステム(EMS)」「品質マネジメントシステム(QMS)」並びに「情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)」の統合方針を定め、各システムの継続的改善に努めます。

- 1.該当する法律、規制、条例、協定及び当社が受け入れたその他の要求事項を順守します。
  - 2.環境・品質・情報セキュリティの向上に対して最善を尽くす為に、各マネジメントシステムの有効性を継続的に改善するPDCAサイクルを確実に実践します。
  - 3.顧客が要求する製品関連事項を満たし、常に品質向上・業務精度向上を目指します。
    - ①納期の厳守に努めます。
    - ②不再現率の低減に努めます。
    - ③再修理率の低減に努めます。
    - ④顧客満足度調査を実施し、対策を講じることで向上を図ります。
  - 4.事業活動、製品及びサービスにおいて、環境に配慮しつつ、環境保護に対するコミットメントを実施し、環境保全型企業を目指します。
    - ①地球温暖化抑制に配慮し、エネルギーを有効に利用します。
    - ②資材調達の節減及び資源の有効活用を図ります。
    - ③廃棄物の発生抑制を考慮し、環境汚染の予防に努めながら、業務の品質向上を図ります。
    - ④廃棄物の分別と再利用に努めます。
  - 5.取り扱う情報資産は厳重に保護するとともに的確な情報セキュリティ管理体制を確立します。
    - ①情報資産への不正アクセス、情報資産の紛失、漏洩、改ざん及び破壊などに適切な処置を講じます。
    - ②万一のセキュリティ事件発生に対しては、迅速に対応し、被害を最小限に抑え、再発防止に努めます。
    - ③リスク評価基準、リスクアセスメントの仕組みを確立し、これに基づくリスクアセスメントの体系的なアプローチを定義します。
- 特に顧客の情報資産及び社内における従業員の個人情報には機密性、当社の情報システムには完全性、社内で蓄積されたノウハウには可用性を重視し、情報資産の脅威と脆弱性を識別したリスクアセスメントを行い、セキュリティ要求事項を明確にします。
- 6.この立谷通信ISO方針は、文書化し、すべての業務従事者に周知徹底し、維持管理するとともに、社外にも開示します。

制定:2013年10月02日  
改訂:2018年02月08日



立谷通信株式会社  
代表取締役社長

徳永 祐哉